

医学研究センター

フェローシップ部門

三輪 尚史
(部門長)

1. 構成員

部門長 三輪尚史 (MIWA, Naofumi) : 生理学: 教授 (任期: R8.3.31)
部門員 淡路健雄 (AWAJI, Takeo) : 薬理学: 准教授 (任期: R8.3.31)
部門員 井上 勉 (INOUE, Tsutomu) : 大学病院腎臓内科: 教授 (任期: R8.3.31)
部門員 栗田浩樹 (KURITA, Hiroki) : 国際医療センター脳神経外科: 教授 (任期: R8.3.31)
部門員 山下高生 (YAMASHITA, Takao) : 保健医療学部・臨床工学科: 教授 (任期: R8.3.31)
部門員 高田 綾 (TAKADA, Aya) : 法医学: 教授 (任期: R8.3.31)
部門員 海田賢一 (KAIDA, Kenichi) : 総合医療センター脳神経内科: 教授 (任期: R8.3.31)
部門員 村上 孝 (MURAKAMI, Takashi) : 微生物学: 教授 (任期: R8.3.31)

2. 目的・目標

本部門は、学校法人埼玉医科大学医学研究センター規定第9条(4)に則り、大学院医学研究科委員会、および医学教育センターと連携のもと、教員以外の研究者の経済的・身分的支援について協議し答申することを活動の中心とする。本目的のために、大学院、リサーチフェロー、および学外からのフェローシップに関与する。

今年度は、「2025年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金」受給者の確認と、「2026年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金」の応募と選考、およびその結果を医学研究センター運営会議に上程することを目標として活動した。

3. 活動実績

1) 部門会議

随時、メール会議を開き、迅速に対応した。

(1) 第1回部門会議 (令和7年4月18日(金)～令和7年4月30日(水): メール会議) 出席8人 欠席0人
オブザーバー (片桐医学研究センター長、庶務課)

議事: (a) 「令和6年度大学年報および埼玉医大雑誌の原稿の確認」について (議事録有, 運営会議報告)

(b) 「研究センター20周年誌の原稿の確認」について (議事録有, 運営会議報告)

(c) 「2025(R7)年度の私費外国人留学生奨学金の募集要項案(日本語と英語版)」について
(議事録有, 運営会議報告)

(2) 第2回部門会議 (令和7年9月18日(木)～令和7年9月26日(金): メール会議) 出席8人 欠席0人
オブザーバー (片桐医学研究センター長、庶務課)

議事: 「2025(R7)年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金応募者の確認・選考」について
(議事録有, 運営会議報告)

(3) 第3回部門会議 (令和7年10月16日(木)～令和7年10月23日(木): メール会議) 出席8人 欠席0人
オブザーバー (片桐医学研究センター長、庶務課)

議事: 「私費外国人留学生等奨学金の条件付き支給者候補者の順位づけ」について (議事録有, 運営会議報告)

(4) 第4回部門会議 (令和7年12月4日(木)～令和7年12月11日(木): メール会議) 出席8人 欠席0人
オブザーバー (片桐医学研究センター長、庶務課)

議事: 「2026(R8)年度事業計画と予算の審議」について (議事録有, 運営会議報告)

2) 埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金の募集・選考について

「2026年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金」を、2025(R7)年9月1日(月)から9月11日(木)に募集した。期間中に応募があった2名(新規応募: 外国人2名)の資格確認と選考を行った。応募者2名とも、まだ入国されておられ

ないため、在留カード等はなかった。2026年3月末に入国し4月より入学予定だった。以上より、入国後に必要書類の届けを確認した後、受給候補者としてすることとした。また、支給対象者が規定上限の4名に達しないため、2025（R7）年10月1日（水）から10日（金）に追加募集を行ったが、応募者はいなかった。

以上の結果について、令和7年11月の医学研究センター運営会議に答申した。

4. 自己評価と次年度計画

4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価結果

前年度の改善計画に基づき、令和7年度も、「埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金」を募集し、厳正・公平な審査を行った。

4-2. 今年度の自己点検・評価結果に基づく改善計画

今年度も、「埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金」応募者を厳格に審査し、本奨学金が有効に利用できた。来年度も引き続きこの体制が維持されるよう、早期に募集の準備を整えて厳格な審査を行う。